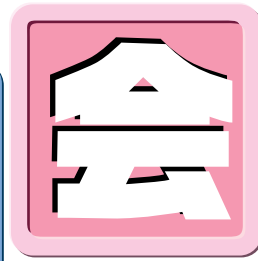




ながはま



だより

Vol.19

平成22年10月15日発行
発行：長浜市議会
編集：議会だより編集委員会



芸術版楽市楽座「アートインナガハマ2010」が
今日2日・3日に中心市街地一帯で開催されました。

市議会議員選挙後の臨時議会におきまして、私たち兩名が議員各位のご推挙を賜り、議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

地方分権の進展に伴い、地方議会の役割と責任はますます大きくなってきております。そのような中において市議会では、議会改革による議会の活性化を図り、「協働でつくる輝きと風格のあるまち長浜」の実現に向け、市民の皆さまの期待と信頼に応えるべく努めてまいります。

なにとぞ、市民の皆様のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ



副議長
西川 正



議長
北田 康隆

新しい所属委員 決まる

総務教育常任委員会



委員長
竹内 達夫



副委員長
浅見 勝也



東野 司



東 久雄



竹本 直隆



柴田 光男



脇阪 宏一



藤井 繁



押谷與茂嗣



中嶋 康雄



委員長
溝口 治夫



副委員長
石田 節子



伊吹 正弘



北田 康隆

健康福祉常任委員会

県立高校統廃合に 関する意見書提出

総務教育常任委員会報告

当委員会に付託を受けました議案は、二十二年度一般会計補正予算等、二件であり、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。

▼二十二年度補正予算の主なものは、電算システムの更新にかかる調査委託、高月町消防団磯野班が県代表として全国消防操法大会出場するための交付金、木之本小・伊香貝小の創立記念事業に対する補助金等です。

▼請願の、「市民文化ホール早期建設について」は趣旨了承、「消費税増税に反対について」「沖縄への新基地建設と米海兵隊訓練移転を進める日米合意の撤回について」は不採択と決しました。

▼意見書は、長浜市の県立高校統廃合に関する意見書を県知事、県教育長、県議会議長宛に提出することを全会一致で決しました。

子宮頸がんワクチン 接種助成事業

健康福祉常任委員会報告

当委員会に付託を受けました議案は、二十二年度一般会計補正予算一件、特別会計補正予算二件並びに病院事業会計補正予算一件、条例の一部改正二件の計八議案であり、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。

▼二十二年度一般会計補正予算の主なものは、中学一年から三年生を対象に一回一万五千円を限度として三回接種の子宮頸がんワクチン接種助成事業費、市民税非課税世帯を対象に全額助成の新型インフルエンザ接種事業費に合わせて五千三百万円を始め住宅手当緊急特別事業費、介護施設開設準備経費補助金等です。

▼特別会計補正予算の三件につきましては、いずれも過年度精算返還金です。

▼条例につきましては、とらひめ認定こども園の施設整備に伴う変更ほか一件です。

速やかな 災害復旧を願って

産業建設常任委員会報告

当委員会では、七月末の大雨時に発生した崩落現場（鍛冶屋）を視察した後、付託を受けました議案を審査し、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。案件の概要は次のとおりです。

▼二十二年度一般会計補正予算の主なものは、市道・林道の災害復旧、地域農業担い手支援、特産品育成、改良住宅譲渡事業、神照運動公園整備に伴う指定管理等です。

▼条例は、神照運動公園多目的競技場・広場の整備に伴う都市公園条例の一部改正です。

▼請願の「生産者米価の暴落に歯止めをかけるため緊急に四十万トン規模の政府買い入れを求める請願」については、賛成多数により趣旨了承と決しました。



崩落現場（鍛冶屋）
の現地視察



長浜市議会役員等一覧表

		【議長】北 田 康 隆			【副議長】西 川 正			【監査委員】林 多 恵 子		
総務教育常任委員会	10名	正副	竹内 達夫 浅見 勝也	東野 司 脇阪 宏一	東 藤井 久雄 繁	竹本 直隆 押谷 與茂嗣	柴田 光男 中 康雄			
健康福祉常任委員会	10名	正副	溝口 治夫 石田 節子	西尾 孝之 北田 康隆	浅見 信夫 山岡 孝明	林 多恵子 押谷 憲雄	伊吹 正弘 森田 義人			
産業建設常任委員会	10名	正副	吉田 豊 杉本 敏隆	田中 伝造 土田 良夫	野村 俊明 阪本 重光	柴田 清行 松本 長治	落合 武士 西川 正			
議会運営委員会	8名	正副	吉田 豊 竹本 直隆	東野 司 伊吹 正弘	竹内 脇阪 達夫 宏一	東 押谷 久雄 憲雄				
議会基本条例検討会	10名	正副	脇阪 宏一 浅見 信夫	東野 司 浅見 勝也	東 押谷 久雄 憲雄	溝口 治夫 森田 義人	落合 武士 中 康雄			
鳥獣害対策特別委員会	8名	正副	石田 節子 阪本 重光	西尾 孝之 山岡 孝明	杉本 敏隆 藤井 繁	竹本 直隆 松本 長治				
決算特別委員会	27名	正副	竹内 達夫 浅見 勝也	議長、副議長および監査委員を除く25名						
議会だより編集委員会	8名	正副	脇阪 宏一 松本 長治	浅見 信夫 山岡 孝明	東 押谷 久雄 憲雄	柴田 光男 中 康雄				
長浜水道企業団協議会	9名		田中 伝造 吉田 豊	浅見 信夫 押谷 憲雄	柴田 光男 松本 長治	北田 康隆 中 康雄	石田 節子			
湖北広域行政事務センター協議会	12名		西尾 孝之 山岡 孝明	杉本 敏隆 土田 良夫	溝口 治夫 藤井 繁	伊吹 正弘 阪本 重光	北田 康隆 押谷 憲雄	浅見 勝也 森田 義人	竹本 直隆 北田 康隆 西川 正	
湖北地域消防組合協議会	12名		東野 司 落合 武士	竹内 達夫 脇阪 宏一	東 土田 久雄 良夫	柴田 清行 押谷 與茂嗣	竹本 直隆 森田 義人			
長浜米原市議会連絡協議会	8名		西尾 孝之 脇阪 宏一	浅見 信夫 押谷 憲雄	東 中 久雄 康雄	北田 康隆 西川 正				
敦賀三市協議会	5名		竹内 達夫	溝口 治夫	北田 康隆	吉田 豊	西川 正			

※表内は議席番号順

「旧六町決算 慎重審議」 決算特別委員会報告

旧六町の打ち切り決算についての議案十八件は、いずれも認定すべきものと決しました。

▼各分科会で議論された事項について、産業建設分科会では、水道料金および住宅新築貸付資金に関し、多額の滞納金が存在しており、早期の解消に向け努力を求める意見。健康福祉分科会では、病院事業において個人未収金の収納率向上に向け更なる努力を求める意見や、最新の医療機器の費用対効果を考え利用促進を図るようとの意見。総務教育分科会では、高月中学校移転改築事業の設計委託について、拙速に事業を進めた結果、多額の設計費用（五千五百六十五万円）が無駄となったことに対し反省を求める厳しい意見などがありました。

これらの議論された事項について真摯に受け止め、更なる努力をすべくよう当局に求めました。

▼長浜市分の決算に関する十五議案については、閉会中の継続審査とすべきものと決しました。

個人質問

主な質問と答弁内容

浅見 勝也 議員

(プロジェクト21)

急傾斜地崩壊対策事業について

問 今年の被害発生と危険箇所の数、要望活動や地元住民との関係構築を問う。

答 大きな被害発生二カ所、危険箇所は急傾斜地三百七十三カ所、土石流三百二十三カ所、地滑りが六カ所。二三年度は、県営事業を五カ所要望。中期整備計画を旧六町地域へ拡大し、地元自治会に十分な説明と協力をいただし連絡を密に事業を実施する。

姉妹都市・友好都市との交流事業について

問 交流事業の意義、交流継続と拡大職員の人事交流、民間交流への位置づけを問う。

答 まちづくりや地域活性化、国際感覚の育成の面で有意義である。交流を継続、または特別な縁での新たな交流も施策に活かせる。



人材育成が図れると判断できる場合には検討する。まちづくり活動補助制度等により支援する。

東 久雄 議員

(公明党)

合併効果について

問 合併本来の目的である行財政改革、進捗状況の数値を問う。

答 二十二年度における人件費、事務費の効率化の合計で十二億二千万円の効果があり、一市六町を加えると十八年度以後の行政改革の取組み効果は約二十億円で、この効果は毎年累積していく。さらなる行政改革は必要である。

学校施設グラウンド等の芝生化計画を問う

問 校庭、園庭の芝生化モデル事業はどうか問う。

答 教育的効果、施設の維持管理面の効果はある。教職員だけの管理は限界があるが、子どもや地域住民との協働で管理することができれば、芝生化計画を推進することは可能と考えている。関係者各位のご協力が得られ次第、芝生化のモデル的事業を進めたい。

押谷 憲雄 議員

(長愛クラブ)

県立高校の再編・統廃合について

問 市長の見解を問う。
湖北地域の次代を担う子ども達の

将来を大きく左右しかねない大変重要な課題と認識している。財政的理由による学校再編は、到底、地域の理解を得られない。今後、県市長会や長浜・米原市議会の力添えを得て、あらゆる形で要望していく。

高月中学校改築について

問 耐力診断結果、建て替えに係る予算について問う。

答 構造上危険な状態にある建物と判断する。改築計画については、過大な規模の設計や交付金の算定誤り等、様々な問題が発生したが、市の基準で改めて設計し直し、財源として文科省の「安心安全な学校づくり交付金」の確保に努める。

溝口 治夫 議員

(新しい風)

公共交通の空白地帯をなくす取り組みについて

問 高齢者やしょうがい者が病院や買物に行きたくても車に乗れない等、交通弱者の対応として、安曇野市等で導入されている「ドア・ツー・ドア」のデマンド交通型乗り合いタクシー方式の導入について問う。

答 本主に公共交通を必要とする地域に、必要なだけの輸送力を備えた公共交通網を整備するという方針により見直しを行っている。また、路線バスの廃止代替としてデマンドタクシーを導入した経緯から、乗降場所は、路線バスに準じた停留所型を継承し、公共交

通としての統一を図っている。「ドア・ツー・ドア」型の輸送システムについては、本市の公共交通体系としては想定していないが、今後他市の状況を研究し検討する。

杉本 敏隆 議員

(日本共産党)

小中学校の全教室にエアコン設置を

問 猛暑で教室の温度が三十五℃以上になり、生徒が授業に集中できない。地球温暖化で夏の高温化が予想され、全教室にエアコンを設置すべきと考えるが見解を問う。

答 暖房設備改修時に対応する。また、国の補助制度ができれば導入に向けて検討する。

しょうがい者の就労について

問 しょうがい者の就労が困難をきわめている。支援対策はどうか問う。

答 本年度は二名程度のしょうがい者の職員採用試験を行う予定である。企業にも制度の活用で雇用増進を求めている。

事業仕分けについて

問 行政の効率化最優先の事業仕分けでは、事業の切り捨てや民間委託の結論しか出てこない。市民サービス切り捨てにつながる事業仕分けは必要と考えるがどうか。

答 市民や外部の意見を聞く手法の一つとして実施した。

吉田 豊 議員

(プロジェクト21)

子宮頸がんのワクチン接種の助成について

問 予防ワクチン接種の公費助成決定に至るまでの経緯とその安全性について問う。

答 今日まで死因の第一位であるがん対策に積極的に取り組んできた。子宮頸がんの六割を予防できるワクチンが認可され、厚生労働省が公費助成を二十三年度予算概算要求に盛り込まれたことをふまえて決定した。これを契機として、「がん検診の受診」と「ワクチン接種の推奨」の二本柱として予防を推進していく。その安全性については国立感染症研究所の報告にも副反応は無いとあり、国が薬事承認をしていることで安全性が確認されていると判断している。任意接種であるため、接種の是非について判断できるよう、十分その効果とリスクについて情報提供していく。

藤井 繁 議員

(無会派)

市発注公共事業における地産地消の推進について

問 市各部門の予算執行において、市が補助委託する部門、団体等への地産地消の推進について問う。

答 市発注の公共工事や物品調達といった公共事業の市内での地産地消の推

進は公平性、透明性、競争性を確保しつつ、地元業者の育成、雇用の確保、地域経済の循環、発展につながることを認識している。今後各市の各種事業、市が補助、委託する関連団体が行う事業を含めた地産地消の推進について「地元のもの地元で消費利用する。」という当たり前の事を強く認識して各部門での創意工夫に努めたい。

山岡 孝明 議員

(プロジェクト21)

合併後の子育て支援について

問 認定こども園新設拡充について問う。

答 教育委員会と協議し、認定こども園開設も視野に入れ、就学前施設の配置について検討する。

問 放課後児童クラブ未開設地域について問う。

答 開設基準を満たした場合は、余裕教室利用で放課後児童クラブを開設する予定である。

問 高月幼稚園の三年保育説明会について問う。

答 今後、早い段階で二回目の説明会を開催するなど、保護者への情報提供を進めていく。

問 就学前教育において園間での格差はないか問う。

答 「長浜市幼児教育カリキュラム」に基づき取り組んでおり、今後、幼児教育の在り方については、教育委員会と共に充実を図りたい。

西尾 孝之 議員

(みらい)

市政改革について

問 年功序列、前例主義の市政改革について問う。

答 法律やルール、前例や慣習を大事にし仕事を行うのが公務員。しかし、市民の行政への要求が複雑化してきており、前例や慣習だけでは応えられない時代になった。新しい制度を作る上では、客観的に見て公平平等であるか、市民の理解を得られるか、理にかなっているかが大切である。

問 前例主義にとらわれず、時代にあった新しい前例を作るのも職員の仕事であり、それをバックアップするのも議員の仕事だと思いがどうか問う。

答 与えられた仕事を熟知することは当然であり、プラス、それをどう変えていくか議論することが大切である。

中島 康雄 議員

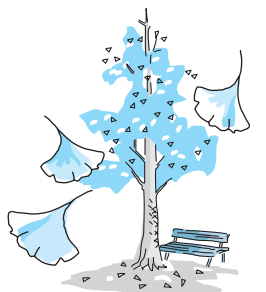
(新しい風)

行政改革の取り組みについて

問 公有地等を行政経営資源の一つとし、活用方針等明確にする「財産利活用総合計画」など作成し、早期売却への道筋を明確にしてはどうかを問う。

答 八月に庁内横断的な組織「公有財産利活用推進本部」を設置。個々の未利用財産を利活用していくための基本方針を策定し利活用方針を決定する。また、未利用財産について、市民に情

報を公表するとともに、未利用財産の利活用をスピーディに進めるために専門知識を持った民間企業の活用も検討する。



公有地の未登記処理について

問 紛争を未然に防ぎまちづくりのためにも精通する民間企業等に事務を委託し、早期に解決してはどうかを問う。

答 約二千筆の未登記が存在し、経年による相続人の増加等処理が困難化している。問題点を抽出し、対応方針の整理を行う。

松本 長治 議員

(新しい風)

鳥獣害対策について

問 鳥獣害の現状と今後の対策や問題点について問う。

答 地域により鳥獣の種類や被害作物の種類などは異なっているが、被害は増加している。現在各地域において、獣害対策のための研修会を実施している。今後とも鳥獣害対策には、国県への働きかけも重要と考える。

問 地元を無視した大型獣の放獣について、市の考え方を問う。

答 一旦檻に入った大型獣の放獣は、危険を伴う。地域住民の方の放獣に対する懸念の声を真に伝えながら、要望活動を行っていく。

落合 武士 議員 (プロジェクト21)

二つの病院の経営姿勢と今後の取り組みについて

問 地域医療に対する取り組みと二つの病院の今後の経営姿勢を問う。

答 長浜病院は湖北地域の基幹病院であり、湖北病院は北部の中心病院である。それぞれの病院の持つ強みや特性を活かし、相互に連携して機能を補完するものと位置づけたい。

問 医師不足看護師不足の今後の対策と現時点での成果を問う。

答 大学医局への派遣依頼、県への自治医科大卒業医師の継続的派遣要請とともに独自採用、非常勤医師の確保等に努めている。看護師についても、職防止対策や奨学金貸与等の対策で確保を図っている。

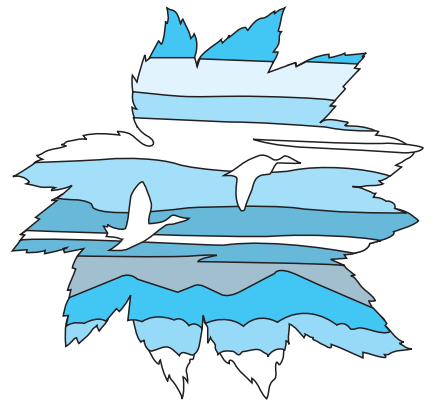
東野 司 議員

(みらい)

入札の透明性確保について

問 国交省、近畿農政局、滋賀県は入札後に発注者積算内訳を公表し、入札の透明性確保に努めている。本市では非公表としているが透明性確保の為に公表とする事の是非を問う。

答 県内他市では非公表としており当市も做っているが、透明性確保の為に様々な手法を検討する中で、公表についても検討する。



防犯カメラの設置について

問 過疎及び高齢化率の高い地域では、日中現役世代が仕事になると、日中犯罪の発生する可能性も高く、防犯カメラの設置をしようかと問う。

答 県や市でも防犯カメラの補助金制度があり、自治会単位程度で検討していただき、補助金制度の広報にも努めたい。

森田 義人 議員

(新しい風)

高月中移転改築について

問 全面移転改築での設計になるのか問う。

答 教育・財政・地域住民の声を重ね合わせて移転改築に向け具体的作業に入る。

新長浜市の均衡ある発展について

問 長浜北部(旧伊香郡)総合事務所設置について問う。

答 木之本支所内に北部総合振興局のような機関を設け、長浜北部の支所管内の事務を統括・集約する部門をつくるべく協議中である。

問 旧高月町のプールは来夏利用できるのか問う。

答 PTAのみならず地域の方々の支援も視野に入れ、地域教育力の活用を期待する。

雪寒対策事業について

問 七郷小周辺融雪装置の完成時期を問う。

答 ポンプ施設と散水管約六百五十メートルの布設を行い、今冬内に完成する予定である。

柴田 光男 議員

(新しい風)

子どもの体力低下の現状と生涯スポーツについて

問 全国的に子どもの体力が低下しているが、本市の現状と対策について問う。

答 体力低下は著しいものがあり、生涯スポーツの観点から向上の為に防止を講じていきたい。スポーツは、高齢化社会にあって健康保持に大きく貢献していることから、施設の整備、充実に努めていきたい。施設利用料の減免については、受益者負担の原則・負担の公平性から考えたくない。

県道主要幹線道路の整備について

問 県道フレンドマート祇園店から国道森町交差点間の道路拡幅について問う。

答 県道路整備の重点事業に挙げられており、早期完成に向け取り組んでいる。

竹本 直隆 議員

(新しい風)

集中豪雨、ゲリラ豪雨対策について

問 新長浜市の姉川、高時川防災対策を問う。

答 河川ごとの危険雨量、危険水位などの判断基準により警戒対策をとる。

問 高時川流域住民への緊急避難および安全対策について問う。

答 旧町で策定している防災計画に修正を加える。

問 緊急時における市職員の防災体制は、支所職員が減ったことで旧町地域で不十分となっていないか問う。

答 被災状況に応じて本庁から職員を派遣する。

スマートインターチェンジについて

問 調査費が付いたが、その後の進捗状況を問う。

答 市と県土木事務所との共同で年内の許可申請をめざしている。

問 担当部署の設置について問う。

答 関連する部署が連携し総合的に事業推進することが重要と考えている。



土田 良夫 議員

(プロジェクト21)

本庁舎整備基本構想について

問 年次整備計画のスケジュールとアクセス道路の将来的整備計画について問う。

答 現在、庁舎整備工事基本設計業務プロポーザル(※)の実施中で十月初旬には業者の選定を行い、今年度中に基本設計を完了したい。来年度に実施設計を行い、秋頃に建設工事に着手、二十五年度完了を目指す。アクセス道路の整備については、庁舎の配置関係との関連から基本設計のなかで検討し、敷地東側の都市計画道路は主要な道路と認識しており整備に向けた取り組みを進める。現在の東別館に庁舎機能が一元化された後の高田庁舎跡地は優良な市有資産であり、今後市民をはじめ多くの意見を取り入れ、有効利用を検討する必要がある。

竹内 達夫 議員

(日本共産党)

敬老祝賀品が万歩計とは?

問 「寝たきり、歩行困難な人に万歩計など届けられない」「お年寄りの気持ちが悪くなっていない」などブライニングが相次いだ万歩計。選定にあたって、充分検討されたのか問う。

答 高齢者に喜ばれる品でなかったと反省している。今後は民生委員とも相談する。

職員の不祥事について

問 収賄による市職員二人の逮捕は、市政はじまって以来の「前代未聞の不祥事」。背景をどう分析したか。職場のチエック機能はどうか。

答 全体の奉仕者としての意識、倫理観の欠如、チエック体制や指導体制にも問題があったと反省している。事件を未然に防ぐことが管理者の務めと考えている。

脇阪 宏一 議員

(プロジェクト21)

親育について問う

問 今日の喫緊の課題であるが、いつから取り組むのか。

答 非常に重要な課題として認識しており、国県への政策提案としても既に要望活動をしている。市では現在、子育て学習や家庭教育といった分野について関係部局が業務の本質や役割を活かして事業を展開している。

問 母子健康手帳交付時からの取り組みが重要ではないか。

答 有識者会議の提言を受けて市や教育委員会、

地域等を始め、情報交換等の場の提供を行っている。今後効果的に実施することについて、



横の連携を密にして部局横断的に政策の展開をするべきだと考えている。有効な提言などがあれば積極的に推進していきたい。

石田 節子 議員

(プロジェクト21)

江北図書館について

問 貴重図書・資料の整理保管場所の提供について問う。

答 膨大で貴重な資料の分類・整理になるため施設の長期使用による施設維持費の問題や、盗難等の安全対策の問題等で図書館側の希望する条件に合わず折り合いがつかなかった。引き続き場所の協議を図る図書館側としていく。

事業仕分けで不要とされた事業について

問 ケーブルテレビの行政放送は視聴地域にとってテレビのボタン一つで市内の情報がわかり重宝されている。継続について問う。

答 現在全世帯の三十%の視聴で公平性を欠くとの判断であり、今後、財政負担等諸条件を考慮し判断していく。

浅見 信夫 議員

(日本共産党)

国民健康保険について

問 倒産や失業で医療費支払いが困難な世帯が増えている。国保法に基づく一部負担金窓口負担の免除基準を定めることについて問う。

答 九月十三日に出された国の通知に基づき、国保運営協議会で議論し、必要であれば対応する。

地域福祉計画について

問 少子高齢化や地域経済の悪化に対応し、地域の福祉課題に取り組み、地域福祉の推進を図るため、地域福祉計画の策定について問う。

答 長浜市基本構想に即した地域福祉計画を市民参加や社会福祉協議会の協力を得て、平成二十四年度末までに策定する。

野村 俊明 議員

(無党派)

新庁舎の建設について

問 新庁舎の建設について、先の議会の特別委員会報告書をどのように取り扱うのか問う。

答 順次推進していく本体工事、道路整備工事、外構工事においても、反映したいと考えている。

浅井の名について

問 地図からは、東浅井郡、浅井町と浅井の名が消えたが、浅井の名をどのように残していくのかを問う。

答 「浅井文化スポーツ公園」や「浅井文化ホール」など市民の皆さんが多数利用いただける公の施設の名称やイベントの名称として残している。

※業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的に対する企画を提案してもらいその中から選定する。

臨時会(八月十日)

議案

第八十八号 監査委員の選任について

第三回定例会(九月)

議案

第八十七号 平成二十一年度長浜市一般会計補正予算(第四号)

第八十八号 平成二十一年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

第八十九号 平成二十一年度長浜市老人保健特別会計補正予算(第一号)

第九十号 平成二十一年度長浜市介護保険特別会計補正予算(第一号)

第九十一号 平成二十一年度長浜市病院事業会計補正予算(第一号)

第九十二号 平成二十一年度長浜市水・高月水道事業会計決算の認定について

第九十三号 平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計決算の認定について

第九十四号 平成二十一年度高月町水道事業会計決算の認定について

第九十五号 平成二十一年度木之本町上水道事業会計決算の認定について

第九十六号 平成二十一年度伊香郡病院組合病院事業会計決算の認定について

第九十七号 平成二十一年度伊香郡病院組合老人保健施設事業会計決算の認定について

第九十八号 平成二十一年度伊香郡病院組合老人保健施設事業会計決算の認定について

第九十九号 平成二十一年度虎姫町歳入歳出決算の認定について

第百号 平成二十一年度湖北町歳入歳出決算の認定について

第百一号 平成二十一年度高月町歳入歳出決算の認定について

第百二号 平成二十一年度木之本町歳入歳出決算の認定について

第百三号 平成二十一年度赤良町歳入歳出決算の認定について

第百四号 平成二十一年度西浅井町歳入歳出決算の認定について

第百五号 平成二十一年度伊香郡病院組合歳入歳出決算の認定について

第百六号 平成二十一年度伊香郡衛生フロンテ組合歳入歳出決算の認定について

第百七号 平成二十一年度伊香郡民会館管理組合歳入歳出決算の認定について

第百八号 平成二十一年度木之本町・赤良町等学校食センター協議会歳入歳出決算の認定について

第百九号 平成二十一年度長浜市びわく水道事業会計決算の認定について

第百十号 長浜市国民健康保険条例の一部改正について

第百十一号 長浜市保育所条例及び長浜市立認定こども園の設置等に関する条例の一部改正について

第百十二号 長浜市都市公園条例の一部改正について

第百十三号 七尾財産区管理会の委員の選任について

第百十四号 七尾財産区管理会の委員の選任について

第百十五号 七尾財産区管理会の委員の選任について

第百十六号 七尾財産区管理会の委員の選任について

第百十七号 七尾財産区管理会の委員の選任について

原案同意(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

第百十八号 七尾財産区管理会の委員の選任について

第百十九号 七尾財産区管理会の委員の選任について

第百二十号 琵琶湖東北部広域市町村圏協議会の廃止について

第百二十一号 市道の路線の認定について

第百二十二号 共有物の分割請求について

第百二十三号 平成二十一年度長浜市病院事業会計補正予算(第三号)

第百二十四号 平成二十一年度長浜市一般会計補正予算(第五号)

第百二十五号 平成二十一年度長浜市一般会計歳入歳出決算の認定について

第百二十六号 平成二十一年度長浜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

第百二十七号 平成二十一年度長浜市診療所特別会計歳入歳出決算の認定について

第百二十八号 平成二十一年度長浜市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

第百二十九号 平成二十一年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十号 平成二十一年度長浜市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十一号 平成二十一年度長浜市介護認定審査会共同設置特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十二号 平成二十一年度長浜市しょうがい者自立支援審査会共同設置特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十三号 平成二十一年度長浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十四号 平成二十一年度長浜市農業排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十五号 平成二十一年度長浜市浅井簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十六号 平成二十一年度長浜市湖北簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十七号 平成二十一年度長浜市木之本簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十八号 平成二十一年度長浜市赤良簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第百三十九号 平成二十一年度長浜市西浅井簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(全員)

第百四十号 長浜市レクリエーション広場の指定管理者の指定について

第百四十一号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

第百四十二号 長浜市民文化ホール(仮称)早期建設についての請願

第百四十三号 生産者米俵の懸港に歯止めをかけるため、緊急に四十万トンの積荷の政府買入れを求める請願

第百四十四号 消費増税の増税に反対する請願書

第百四十五号 「沖縄への新基地建設」全国への米海兵隊訓練移転を進める

第百四十六号 「日米合意」の撤回を求める意見書 提出を求める請願

第百四十七号 意見書案

第百四十八号 長浜市の県立高校統廃合に関する意見書

原案可決(全員)

原案可決(全員)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

原案可決(多数)

編集後記

記録的な猛暑となったこの夏、任期満了に伴う長浜市議会議員選挙が行われました。新たに選ばれました私たち三十名は、長浜市発展のため、一生懸命取り組みでまいります。さて、十月の声を聞き、ようやく透き通った空とさわやかな風が心地よく感じられる秋の季節となりましたが、各地では運動会が開催され、元気に走りまわる子どもたちの姿が大変眩しく感じられます。この子どもたちのためにも、「希望と夢に満ちたまち」を創造することが私たちの役割であると確信しております。皆様との情報共有の場となる『市議会だより』を今後ともよろしく願います。

ながはま市議会だより 編集委員会

一般質問の録画映像(1)のインタビューネットで見ることができます。
<http://www.gijiroku.net/city.nagahama-vod/>